

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	深達度SS/SE胃癌患者における遺伝子変異の臨床的有用性を評価する大規模バイオマーカー研究 (「深達度SS/SEの切除可能胃癌に対する網嚢切除の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験」の付随研究)
該当者	JCOG1011(深達度SS/SEの切除可能胃癌に対する網嚢切除の意義に関するランダム化比較試験)に参加された患者さん
当院の研究責任者	外科 野村 尚
研究代表者	国立がん研究センター中央病院 胃外科 吉川貴己
本研究の目的	胃癌組織の薬剤応答性関連遺伝子と全生存期間、無再発生存期間、有害事象等との関連の検討
実施予定期間	2022年12月～2030年3月
研究の方法	深達度SS/SEの切除可能胃癌に対する網嚢切除の意義に関するランダム化比較試験の付随研究として東京大学医学研究所へ提出した手術時の切除組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本の正常組織から、DNAを抽出し薬剤応答性関連遺伝子を検索し、全生存期間、無再発生存期間、有害事象との関連を検討する
研究に用いる試料・情報の種類	試料：手術時の切除組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本 情報：年齢、性別、臨床病期、病理病期、治療経過、術後補助化学療法の施行状況、有害事象、生存期間、再発情報
外部への試料・情報の提供・公表	既に提出している上記試料や臨床情報を用いて新たな検索を行います。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除されています。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 野村 尚 023-685-2626